

米不足 自給放棄の農政転換を

共産党の田村智子委員長は、米の品薄への政府の対応を批判し、店頭で米が十分に回るよう緊急対策を要求しました（8月29日、記者会見）。



記者会見する田村智子委員長

田村委員長 自民の無責任糾弾

坂本哲志農水相は、米の在庫量が近年にないほど低い水準だと認めながら、9月になれば新米が出回るので特別な手立てをとらないと表明しました。田村氏は、米の需要量がわずかに増えただけでこれほどの品薄になった事態に、「主食の米の生産に対する本当に脆弱な実態が示されている」と指摘。「食料自給率の向上に全く責任を果たしてこなかった長年にわたる自民党農政に責任がある」と断じました。このままでは食料危機に



供給の不安定を理由に、米の値段を1割値引きするウィークエンドサービス中止のお知らせを掲示したスーパー。8月22日、東京都北区

のため農家の所得補償をどうするのか、これだけ気候の変動を受けるのだから価格保障をどうするのか、踏み込んだ政策への転換が求められる。このままでは米をはじめとする食料危機に見舞われる」と強調しました。

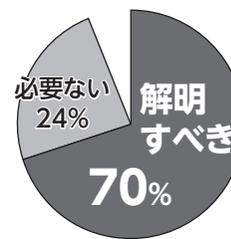
その上で、「主食の米の安定供給

自民党政治終わらせる大改革こそ

自民総裁候補 裏金解明に背

裏金事件などで政治不信を招いたとして、政権を投げ出した岸田首相。「朝日」の世論調査で「新総裁は裏金問題の実態解明を進めるべきか」との問いに「進めるべき」は70%。しかし自民総裁選で後継を争う人物は、事件の真相解明にも、抜本改革にも背を向けてきた政治家ばかりです。

新しい自民総裁は裏金解明すべきか



「朝日」8月24～25日調査

裏金事件は党そのものが問われる問題。自民党政治を終わらせる大改革が必要です。

日本共産党

河野デジタル相 “返せばいいだろう”



「不記載になってしまった金額を返済することで、はじめとして前へ進んでいきたい」（出馬会見）。裏金事件は犯罪。“返せばいいだろう”で済む問題ではありません。

石破元幹事長 “非公認”取り下げ



立候補表明の際、裏金議員は「非公認」とする考えを示唆しました（8月24日）。しかし翌々日には「この（公認の）権限を持っているのは、自民党は選対委員会だ」と事実上、前言を取り下げ。

小林衆議院議員 再調査に否定的



会見（同19日）で裏金事件を再調査するかとの質問に「自ら説明責任を果たすのが原則だ」と否定的発言に終始。会見に顔をそろえた25人の自民議員のうち11人は裏金議員との報道。

総選挙 近畿の比例名簿掲載予定者

日本共産党



元参議院議員 新 たつみやま たかひろ



党本部副委員長・新 堀川 あきこ (京都2区補選)



衆議院議員(期前) 清水 ただし (大阪4区補選)



元尼崎市議 新 こむら 潤 (兵庫8区補選)

制度解説

衆院選挙 投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます
選挙区は「候補者の名前」で

政党名を
と書きます
衆議院比例代表は政党名
で投票します。参議院と違
い個人名は無効です。



▲紹介動画

近畿民報

2024年9月No.1(第616号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号
Tel.06 (6975) 9111 Fax.06 (6975) 9115
Eメール: jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

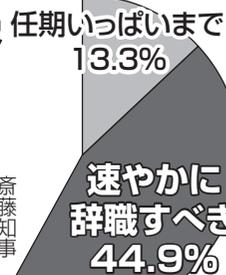
※日本共産党は
以上の見解を
発表しました。

「辞職を」世論沸騰

「おねだり」、パワハラ、阪神・オリックス優勝パレードへの寄付金問題。告発した元県民局長と同一人の職員がなくなる事態にまで至った斎藤元彦兵庫県知事を巡る疑惑。何が問題になっているのか。



斎藤知事



神戸新聞7月30日付

贈答要求やパワハラ

問題の発端は、元西播磨県民局長が斎藤知事の疑惑を記した告発文書（3月12日付）を報道機関などに送ったこと。知事は元局長を「嘘八百」「公務員失格」と罵倒し、停職3カ月の懲戒処分としました。しかし贈答要求（「おねだり」）やパワハラなど事実であることが明らかになり、

県議会での百条委員会設置となりました。

優勝パレードに補助金還流

補助金を増額し、阪神・オリックス優勝パレード（昨年）の寄付金に還流させた疑惑も。補正予算に1億円計上予定だった金融機関への補助金がパレード直前に、副知事の口頭指示で4億円に増額されました。

知事の座しがみつく

元局長が「一死をもって抗議する」とメッセージを残して亡くなりましたが、知事は「道義的責任はないのか」と問われても「対応は適切」と繰り返すだけ。

斎藤氏は、大阪府の財政課長のとき自民党が知事候補に担ぎ出し、安倍派が支援、維新が相乗りしました。当選後、共産党以外の全ての党・会派が支える「オール与党」体制となりました。

辞職・県政転換を

共産党は兵庫県委員会が「県政混乱の責任



「知事辞職！疑惑究明、県政刷新へ」で議論緊急集会」で議論する参加者。8月10日、神戸市東灘区

をとって辞職を」と要求（7月22日）。「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」も県政転換へ知事選を展望した取り組みを強めています。

百条委でパワハラ認めず

兵庫県議会百条委が斎藤知事に初めて実施した証人尋問（8月30日）で、知事は「反省」「おわび」を繰り返したものの、パワハラは認めませんでした。

自民総裁選 相変わらず

ボス詣で

「自民党は変わる」「刷新感」などについて自民党総裁選に名乗りを上げている候補者。実際はどの候補者も相変わらず派閥のボス詣でを繰り返しています。

小林鷹之 前経済安保担当相、上川陽子 外務相、河野太郎 デジタル担当相 → 岸田文雄 首相と面会
石破茂 元幹事長、加藤勝信 元官房長官、野田聖子 元総務相 → 二階俊博 元幹

事長と会談

茂木敏充 幹事長 → 菅義偉 前首相に支援要請

加藤勝信 元官房長官 → 森山裕 総務会長に支援要請

岸田首相は裏金事件を契機に「派閥解消」を訴

えたものの、各候補は派閥の領袖の支持を取り付

けるのに躍起。口では「改革」をいいますが、派閥

の力学で何事も決まると

いう自民党の古い体質は

古い政治そのまま

「総裁選は古い自民党の体質と政治を温存させようとするものでしかない」。日本共産党の小池晃書記局長は厳しく批判しました（8月26日、記者会見）。

総裁選ポスターが歴代

自民党総裁の顔を並べて「時代は『誰』を求め

るか」などとスローガンを掲げています。小池氏は

「古い政治を象徴的に物語るもの。国民は誰も求

めていない」と批判しました。